

支部会議で学び行動 署名、赤旗購読も

三重県桑名市のN職場支部は支部会議で『日本の巨大メディアを考える』パンフを学習。「北朝鮮の『ロケット』問題では、打ち落とす話題ばかりだ」「国民生活を優先したニュースやコメントがない」「マスコミが大企業にものがない」「マスコミがアメリカ言いなりの政府の動きを誇張している実態に納得した」などの意見が出ました。さっそく行動予定をきめ、翌日、

消費税増税反対署名と「しんぶん赤旗」見本紙を持って元読者宅を訪問しました。

はじめ、「消費税は賛成」という人でも党の「提言」を紹介しながら話すと、「民主党は何とかしてくれるか」と思っていたけどダメだし、自民党もダメ、今度の選挙は共産党に入れる。共産党はいいことをしているけれど、ニュースに出てこない夫婦で話していたと

ころ」と話してくれました。夫婦2人で消費税増税反対署名をしてくれ、日曜版も購読してくれました。

「提言」で中小企業団体と懇談

中野武史三重2区候補（北勢地区委員長）と桑名市の星野、石田両市議は党の「提言」を持って、市内の中小企業団体を訪問。地場産業の「深谷サンダル」の材料を製造する「生活総合サービス企業組合」では、代表理事と懇談しました。

海外が95%。家内工業だから海外には出てゆけない。せめてセーフティネットがあれば」と訴え、「消費税なしでもやっていけるはず。増税には反対だ」と話していました。四日市市では、中野候補と萩原元県議、加藤、山本両市議が三重県豊商工組合の理事長と懇談しました。

愛知・文化後援会が総会とミニ文化のつどいひらく



河江明美比例東海ブロック候補は7日、愛知県の日本共産党文化後援会の総会に参加し、「消費税増税反対、原発ゼロの国民の声を国会に届けるために全力をあげます」と決意を述べました。

後援会世話人は、県や名古屋市の文化施設廃止や文化予算削減に反対し、総選挙で勝利しようと呼びかけました。総会后、腹話術や詩の朗読、いけばな、うたごえなどを楽しみました。

愛知・弁護士後援会で講演 佐々木議員



佐々木憲昭衆院議員は3月31日、愛知県の弁護士後援会が開いた学習会で、消費税問題などについて講演しました。

会長の原山剛三弁護士が『提言』をしつかり学び、総選挙で後援会の力を大きく発揮したい」と述べ、参加者からも「税制の根本を直接税中心主義に戻すべきだ」「経済低迷の背景にワーキングプアをつくった政治の責任がある」という意見など、活発な討論になりました。

党後援会東海ブロック連絡会 結成と交流・決起集会の案内

来たるべき総選挙で東海ブロックで比例2議席を獲得するため、ブロック内の後援会がつながりを強め、交流する集会です。自治体ごとの後援会をはじめ、単位後援会やタテ線からもぜひ、たくさんご参加ください。

日時 5月12日(土) 午後1時から午後4時(予定)
場所 TKP名古屋駅前カンファレンスセンター
8階 ホール8A
(名古屋駅から徒歩5分 CK20名駅前ビル)